



# 令和元年度技術実証の結果を御紹介します～野菜・花き～

## 野菜

### ミニトマト若苗定植 & 抑制作型実証で9月の出荷量増加

1 実施目的：単価が回復する9月出荷量の確保を目的に、セル苗直接定植による抑制作型の作業性と収量を把握

#### 2 調査概要

品種：サンチェリーピュアプラス（55穴セル苗、4.5葉） 定植：6/24  
 栽植密度：慣行の条数×株間35cm（定植本数 2,940株/10a）  
 元肥：ロング肥料で窒素3kg/10a量を畦内施肥

#### 3 結果の概要（調査場所：盛岡市湯沢）

- 7/16に第1段花房が開花、8/16から収穫開始し、芯止めまでに第11段花房まで開花。
- 11/17までの単収は3.5t/10a、推定販売額2,504千円/10a（期間平均単価710円/kg）。
- 密植で不安があったが、1段花房下の葉を摘葉したことで、作業は問題なくできた（実証農家感想）。
- 平均単価が高い時期に中心に収穫でき、最後まで果実肥大が良かった（実証農家感想）。

#### 【こんな方におすすめ】

- セル苗直接定植で育苗を省力化したい方！
- 6/下定植で水稻育苗後にゆっくり圃場準備したい方！
- 出荷ピーク分散で管理作業時間を確保したい方！
- 密植&抑制で慣行収穫量が少ない9月に出荷したい方！

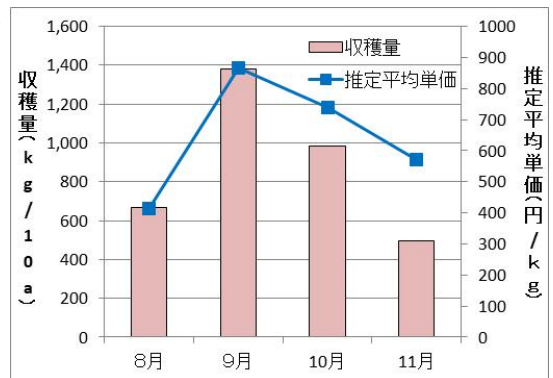


図1 収穫量と平均単価の推移

## 花き

### 局所的遮光によるりんどう高温対策実証

1 実施目的：花卉抽出前後の花蕾部に局所的な遮光を行うことにより、需要期出荷量減少の一因となるりんどうの高温障害（花卉の脱色：写真1）の軽減を図る。

2 調査概要：りんどうの花弁抽出の前後に、遮光幕「明涼 20」、「明涼 40」を写真2のように設置した。場所：矢巾町、時期：7/2～8月上旬、品種：EB-2

#### 3 結果の概要

| 調査日                |      | 対照区    | 遮光率 20%区 | 遮光率 40%区 |
|--------------------|------|--------|----------|----------|
| R1/8/5 11:30<br>晴天 |      | (遮光幕無) | (明涼 20)  | (明涼 40)  |
| 花蕾                 | 東    | 33.2   | 32.9     | 29.9     |
| 表面温度<br>(°C)       | 西    | 35.9   | 34.4     | 32.6     |
|                    | 東西平均 | 34.6   | 33.6     | 31.3     |
| 対照区差<br>(°C)       | 東    | -      | -0.4     | -3.3     |
|                    | 西    | -      | -1.5     | -3.3     |
|                    | 東西平均 | -      | -0.9     | -3.3     |
| 高温障害<br>発生率<br>(%) | 東    | 0%     | 0%       | 0%       |
|                    | 西    | 60%    | 20%      | 0%       |
|                    | 東西平均 | 30%    | 10%      | 0%       |
|                    | 東西平均 | 30%    | 10%      | 0%       |



写真1：花卉の脱色



写真2：実証圃の様子

○「明涼 20」または「明涼 40」での遮光により、花蕾付近の表面温度が低下すること、および高温障害発生率が低下することを確認した。

○りんどう高温障害対策として「明涼 20」または「明涼 40」を用いた局所的遮光は一定の効果があると考えられる。